

今日の説教のポイント<ヨハネによる福音書 15 章 1~17 節>

①聞き慣れた「ぶどうの木」の話。だが侮るなかれ、内容は深い！

「私はぶどうの木、あなたがたはその枝である」(5)、よく知られた話ですが、侮るなかれ。話の中身は豊かで深いです。それを味わいましょう。

②後半から読むべき！ 「私があなたがたを愛したように」(12)から！

この箇所は後ろから読むべきです。すなわち、「私があなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。これが私の掟である。友のために命を捨てること、これ以上に大きな愛はない」(12-13)からです。単に「イエス様がぶどうの幹で、私たちがその枝。だから幹から離れないことが大事」と教えているだけではありません。私たち(友と言って下さる!)の罪を贖うために、私たちに代わって命を捨てて、私たちへの愛を示して下さった方がその幹だから、私たちはその幹に「つながっている」(2, 4, 5, 6, 7)ことを大事にするように、と教えているのです！

③「つながる」(2, 4, 5, 6, 7)と「とどまる」(9, 10)は同じギリシア語！

9-10 節で「愛」が初めて語られます、「私の愛にとどまりなさい。～あなたがたも、私の掟を守るなら、私の愛にとどまっていることになる」。ここでは、今度は、「つながる」に代わって「とどまる」が多く出てきます。しかし、実はこれらは元の原典では同じギリシア語(メネイン)であり、「つながる」「とどまる」「離れない」などと訳されています。私たちがイエス様につながり、イエス様にとどまって離れず、主の教えを守って生きるのは、イエス様が十字架にかけられてもなおその相手を恨まず、赦して下さい、愛に満ちた神様であることを知らされたからです！

④イエス様から離れないなら清い！ さらに望まれている実りとは？

一つ、イエス様が語られた難解な言葉が出てきます、「私の話した言葉によって、あなたがたは既に清くなっている」(3)です。どういう意味でしょうか？ イエス様はすでに弟子たちの足を洗われた時に、「あなた方は清い」と言われています(13:10)。あの箇所でも、今日の箇所でも、弟子たち自身が清いと言うものではありません。弟子たちがイエス様の下に来、イエス様に聞いて生きようとしているから清い(「私の話した言葉によって」)、と言われているのです。すなわち、イエス様の清さから来る清さです。私たちはここに私たちの可能性を見出せるのです！ 私たちがイエス様を宣べ伝えて豊かな実りを得られるという可能性です(8)。そして、そのための祈りはかなえられるのです(16)！